

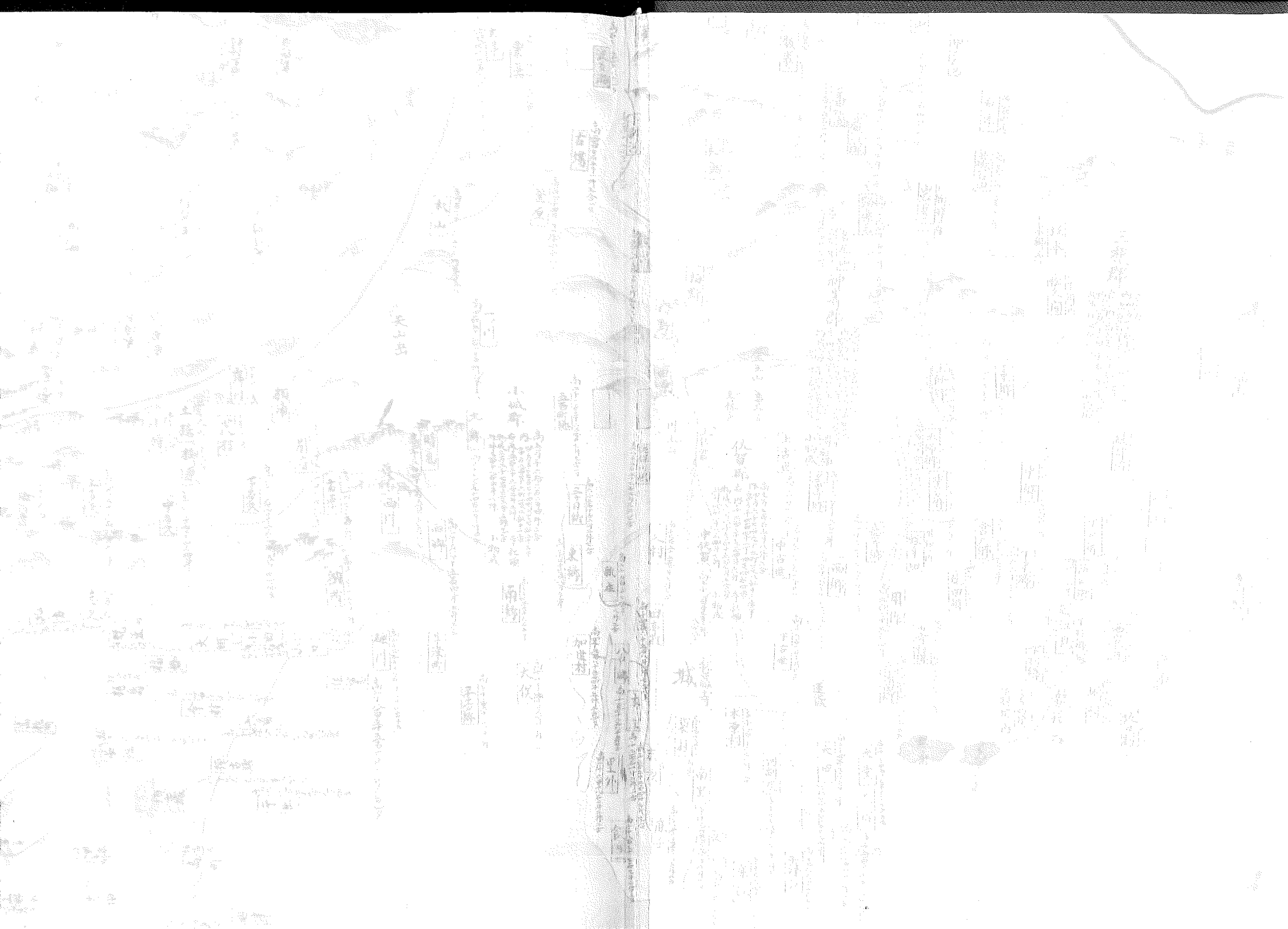
佐賀市史

第三卷

13史誌記

1

佐賀市史



新加坡

檳榔嶼

小坡

大坡

加冷

勿拉士

會

林

南

北

中

古

道

南

北

山

水

田

園

莊

園

庄

園

莊

園

莊

園

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

莊

園

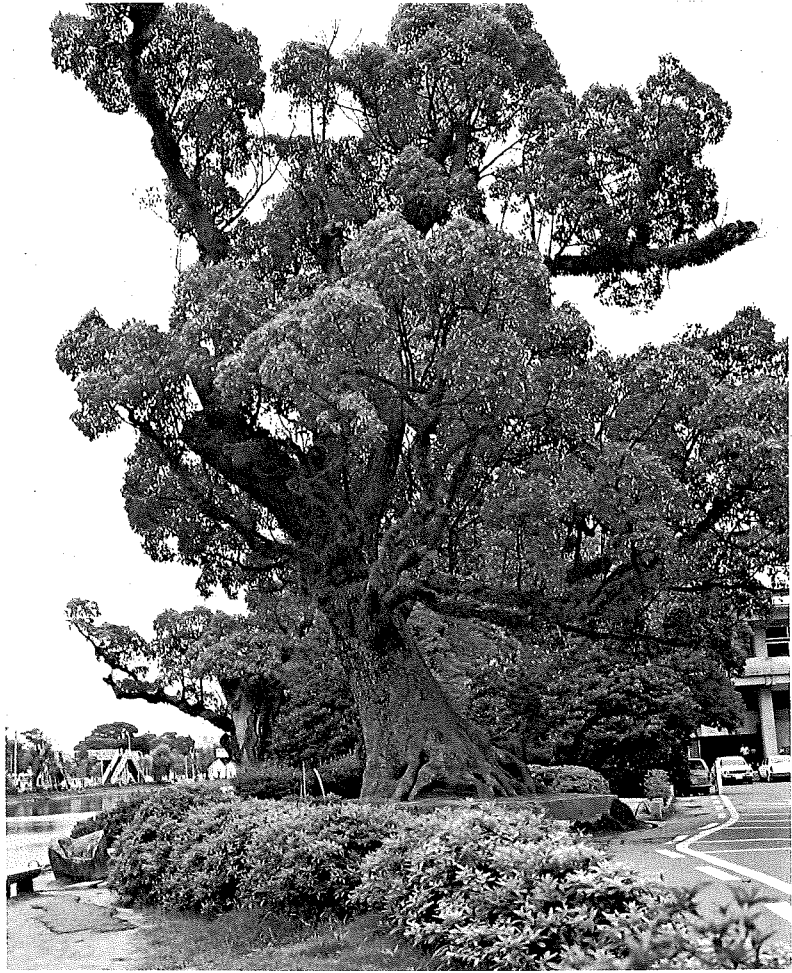
莊

園

莊

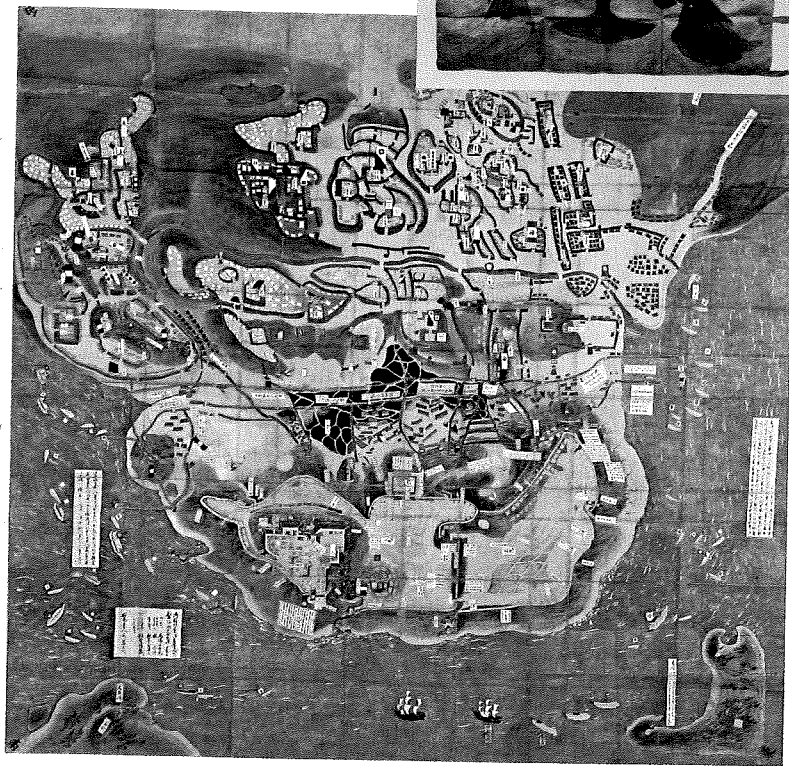
佐賀市史

第二卷



佐賀城跡の楠

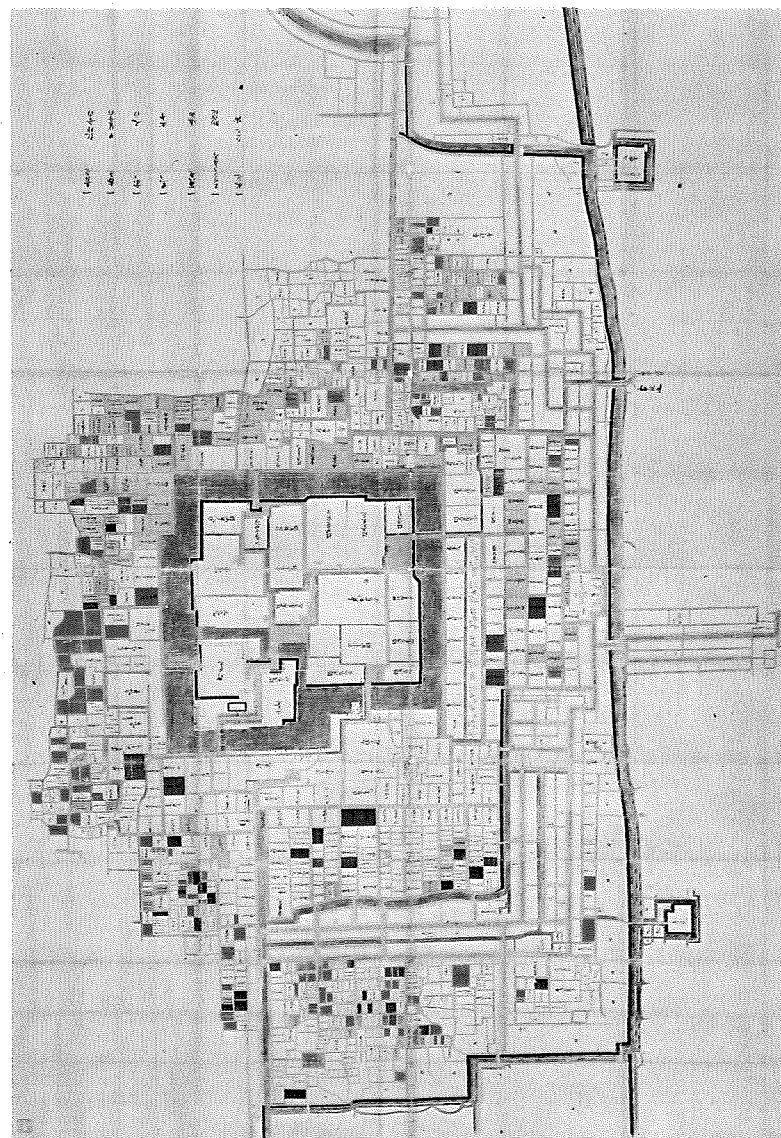
天草四郎時貞の旗指物



島原の乱陣営図 (松浦史料博物館蔵)



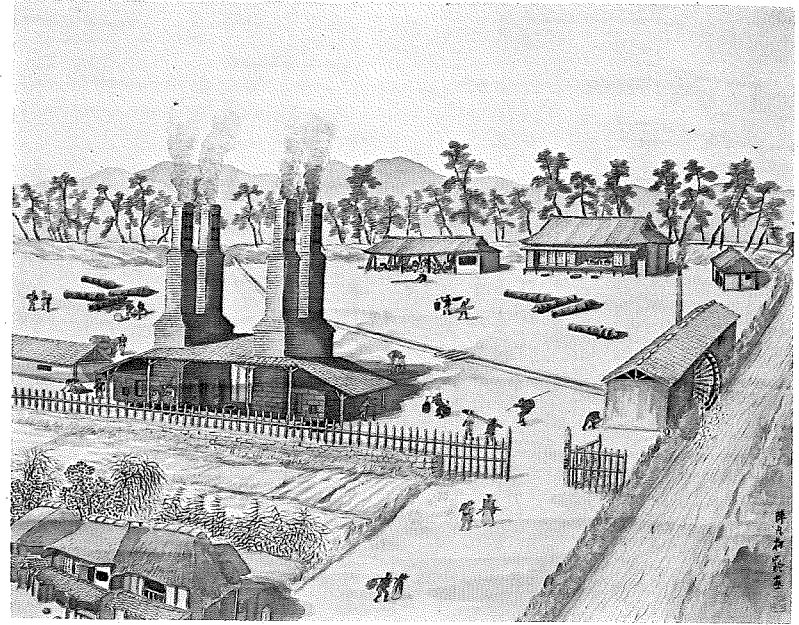
佐賀城鯨の門及び続櫓(国重要文化財)



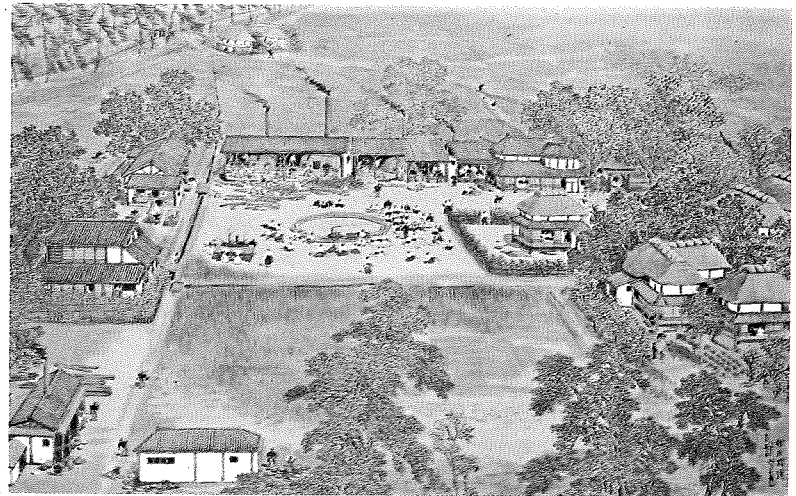
承応三年(1654)佐賀城下絵図 (鍋島報效会蔵)



与賀神社神幸の図 (与賀神社蔵)



多布施公儀石火矢鑄立所図 (鍋島報效会蔵)



精煉方図 (鍋島報效会蔵)



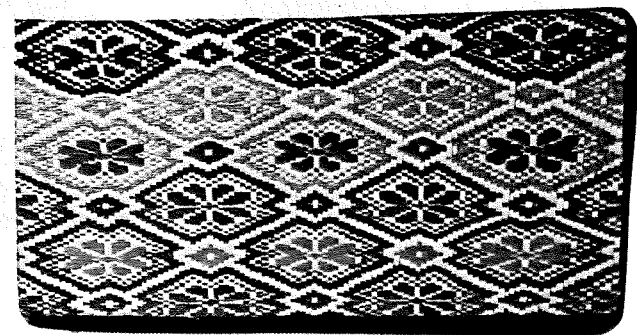
西宮社の石像えびす坐像(市有形民俗文化財)



佐賀更紗の羽織(野中萬太郎氏藏)



堀江神社浮立玄蕃一流(市無形文化財)



佐賀錦の懐紙入れ(古賀八千代氏藏)



長崎街道の町並みと道標

凡 例

- 一 本書は、佐賀市史全五巻のうちの第二巻である。
- 一 この巻の内容は、近世編として、佐賀藩の成立から幕末の慶応三年（一八六七）までについて叙述した。
- 一 項目の表示は、章・節・項の文字は使用せず、一・(一)・3として区分し、以下区分を必要とする場合は小見出しにした。
- 一 文章はできるだけ平易なものとするため、現代かなづかいにより、漢字も当用漢字を用いた。しかし、固有名詞、歴史的名辞（歴史用語）など特殊なものは原文のままを掲げてふりがなをつけた。
- 一 文中の人名は、文中の引用、参照した編著論文などの編著執筆者名も含めて敬称を省略した。
- 一 一般に数の表記は、日本数字を並べて表わしたが、特殊なものには十・百・千等の単位語を入れた。
- 一 年紀の表現は、日本年号を用い、その下に（ ）をもって西暦年を付記した。
- 一 文中に引用する資料のうち、文書・記録類・編さん物などは『』で示し、内容及ぶ場合は、「」または改行して一段落して書いた。
- 一 注書は、文書または語句の右下に番号を○に包んで表わし、節に相当する区分ごとに資料・参考文献を掲げた。

(三) 藩の財政……………七四

1 表高と草高……………七四

2 財政難……………七九

。財政難の原因 。

。財政難の対応策 。

。近代的兵制の財源

二 鍋島藩政の展開……………一〇〇

(一) 島原の乱……………一〇〇

1 一揆勃発の背景……………一〇〇

2 頑強な一揆の反抗……………一〇二

3 原城陥落……………一〇五

4 原城一番乗りの真相……………一〇六

(二) 光茂・綱茂の改革と文治主義……………一〇三

1 支藩統制の展開……………一〇三

2 文治主義的政策の展開……………一〇六

(三) 治茂の改革……………一〇六

1 改革の背景……………一〇六

2 徒罪制……………一〇六

。徒罪方の設置 。

。徒罪方の設置の時代的背景

。徒罪の種類

三 佐賀城と城下町……………一九三

(一) 佐賀城・蓮池城の築造……………一九三

1 築城当時の佐賀城……………一九三

2 佐賀城の特色と変容……………一九六

3 鯨の門と佐賀城の再建……………二〇一

(二) 佐賀城下町の特色と変容……………二〇五

(三) 町の行政……………二〇七

1 屋敷方定と町方定……………二〇七

2 長崎街道……………二〇七

3 札 馬……………二〇八

4 使者屋・茶屋・本陣……………二〇八

3 六 府 方……………二七五

。徒罪の内容 。

。徒罪制の変遷

3 六 府 方……………二七五

。六府方の意義 。

。六府方設置の理由 。

。六府方の仕組 。

。六府方の経費

。殖産事業の進展

4 大庄屋の整理……………二八五

。大庄屋と代官 。

。大庄屋整理の背景 。

。大庄屋廃止と在任代官

四 町の豪商たち……………三三三

1 平吉氏と中元寺氏……………三三三

2 蒲原家……………二六〇

。川港―下今宿町― 。金銭の調達 。借金 。売米 。綿

。苫 。炭・薪 。大豆・大麦・小麦 。味噌・醤油 。酒

3 白山町の武富家と牛島町の武富家……………二九四

。白山町武富家 。牛島町武富家

(五) 日峯社(松原神社)と願正寺……………三二五

1 日峯社(松原神社)……………三二五

2 願正寺……………三三〇

。願正寺開基 。開山番料 。時鐘

四 領民生活の諸相……………三三三

(一) 武士の生活……………三三三

(二) 農業と農民の生活……………三三七

1 耕地面積と反当収量……………三三七

2 経営規模と耕作形態……………三六三

3 作物と栽培技術……………三六九

4 貢 租……………三六一

5 村の生活……………三六六

(三) 人口の動き……………四〇三

1 人口調査について……………四〇三

2 人口の動態……………四〇九

3 男女比率の動態……………四二二

4 飢饉と男女比率……………四二五

5 男女比率の地域差……………四二六

6 幕府提出人数帳の除外人口……………四二七

五 教育と文化……………四四四

(一) 葉 隠……………四四四

1 葉隠の語義……………四四四

2 葉隠成立の動機……………四四六

3 常朝の生いたち……………四四九

4 葉隠精神の基調……………四五一

5 秘本葉隠……………四四三

(二) 藩 校……………四四六

1 弘道館……………四六六

 。藩校建設の時代的背景 。校舍配置と職員構成

 。教科内容と生徒心得 。弘道館教育の成果

2 成章館……………四六五

 。成章館の成立 。成章館の職員構成と学則 。教育の不振

 。幕末の軍事教育強化 。成章館の火災と移転

(三) 蘭学……………四七六

 。漢方医学からオランダ医学へ 。火術研究への移行

(四) 文学と美術工芸……………四八九

 1 文学……………四八九

 2 美術・工芸……………四九〇

(五) 民俗と芸能……………五〇二

 1 民俗芸能……………五〇二

 2 河童の俗信……………五〇五

 3 正月行事……………五〇八

 4 民間信仰……………五〇〇

六 明治維新への胎動……………五〇五

(一) フェートン号事件……………五三三

(二) 直正と天保改革……………五四六

(三) 長崎警備と洋式軍事工業……………五五三

(四) 幕末の動向……………五五五

 1 蝦夷地調査……………五五五

 2 藩士の海外派遣……………五六二

 3 文久二年、直正の東上……………五六八

 4 元治元年、直正の東上……………五六五

 5 慶応三年、直正の東上……………五六六

付 録 鍋島諸家系図……………六四五

年 表……………六六二

編集後記……………六六二